
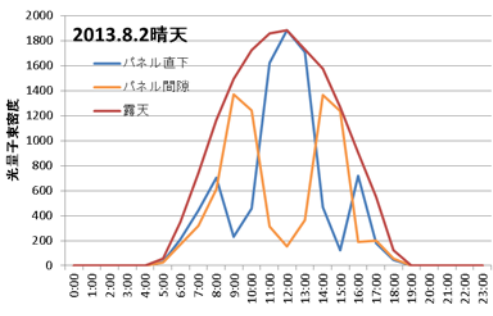


ソーラーシェアリングを摸した光制限下におけるチャの生育反応

- ◎ チャの遮光による一時的な光制限に対する反応は、品質向上や成分制御のための栽培技術として利用されていますが、恒常的な光制限環境でのチャの反応については十分な知見がありません。
- ◎ チャ生産におけるソーラーシェアリングの可能性をみいだすため、恒常的な光制限環境におけるチャの生育反応を明らかにしました。

ソーラーシェアリングの光環境





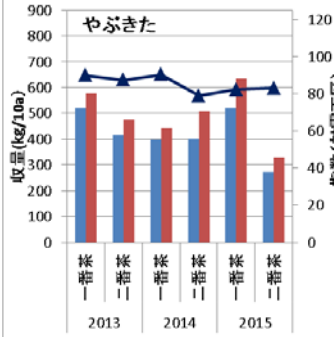
2013.8.2晴天

— パネル直下
— パネル間隙
— 露天

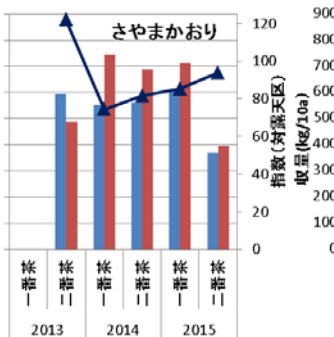
光量子密度

- ソーラーシェアリングは発電パネルの間隔をあけて配置し、作物と太陽光を共有します。
- 一事例として、パネルを南北方向に等間隔で配置した場合のパネル下の光環境は、概ね3時間ごとに日照条件と日陰条件を繰り返し、43～47%の光制限環境となります。

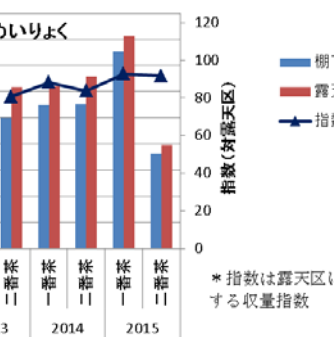
模パネル設置下の3年間の収量



やぶきた



さやまかおり



めいりよく

* 指数は露天区に対する収量指数

- ソーラーシェアリングを摸して配置したパネル下の茶園における3年間の収量は、一二番茶とも概ね露地栽培の80%前後の収量で推移します。
- 光制限による収量低下要因として、芽数の低下が最も大きな要因として考えられます。

お問い合わせ先	三重県農業研究所 茶業研究室 松ヶ谷 祐二	電話 0595-82-3125
参考になる資料	三重農研HP: http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm	